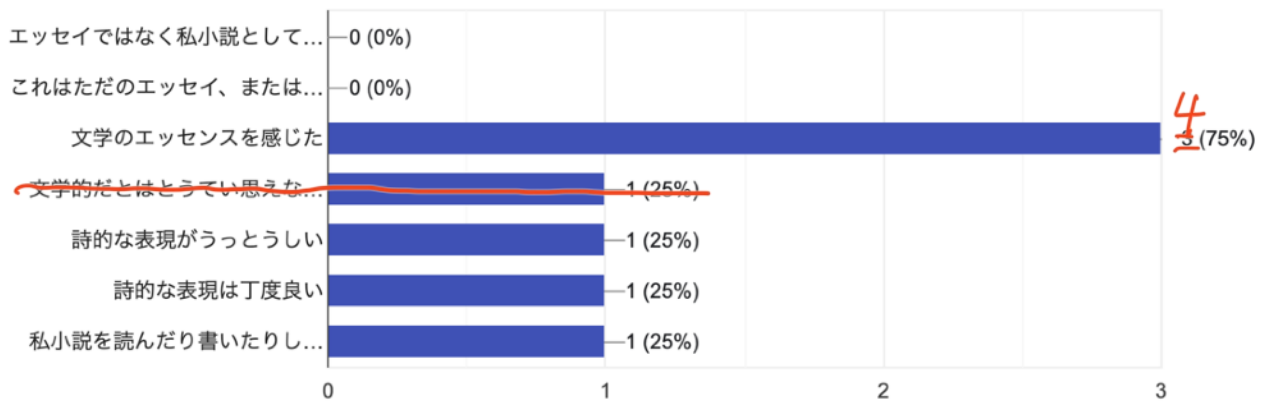


今回は人生に大きな転機が訪れたこともあり、初め...か。当てはまるものにチェックをお願いします。

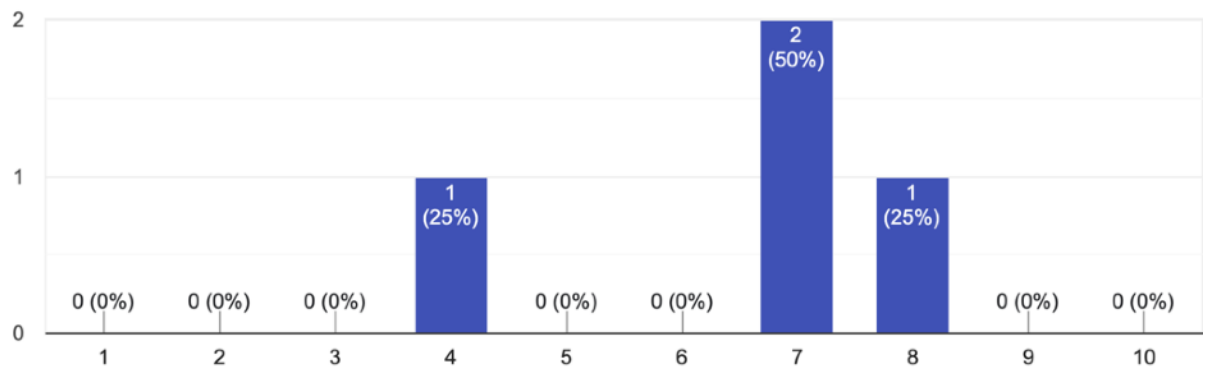
4件の回答



\*訂正があります

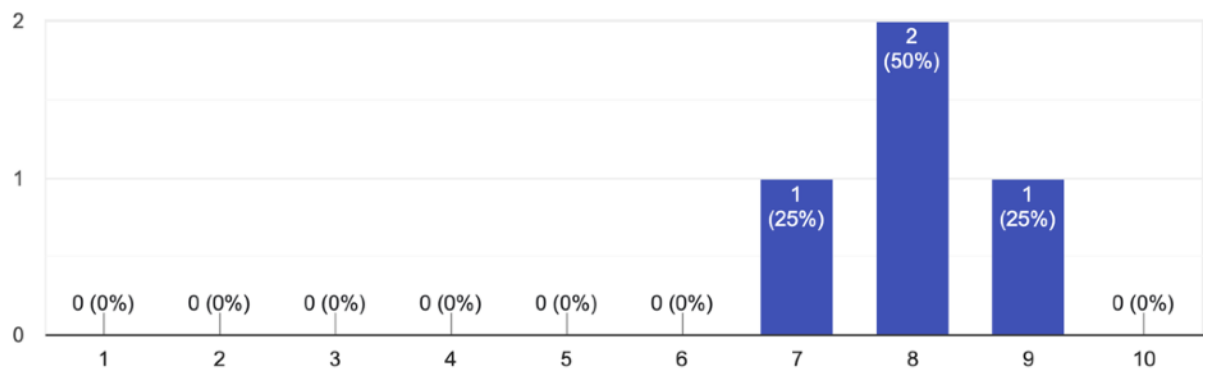
### 読みやすさ

4件の回答



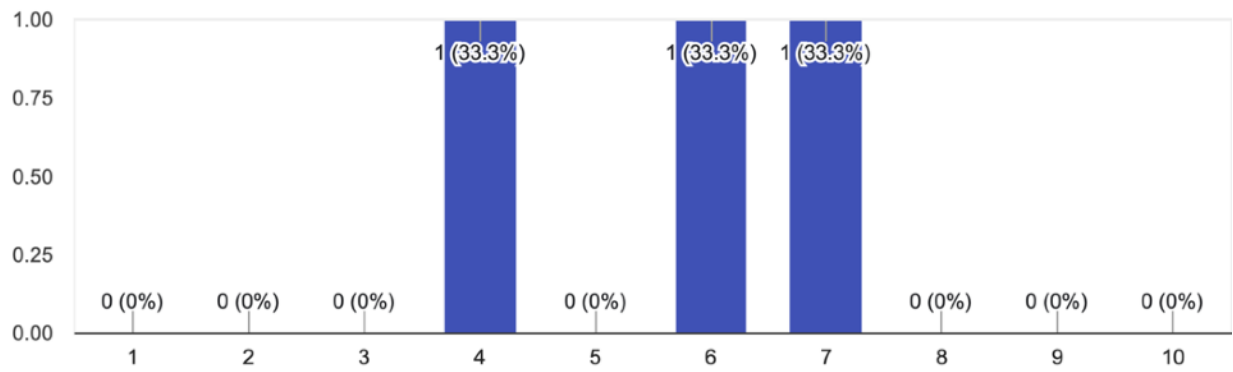
### 情景描写

4件の回答



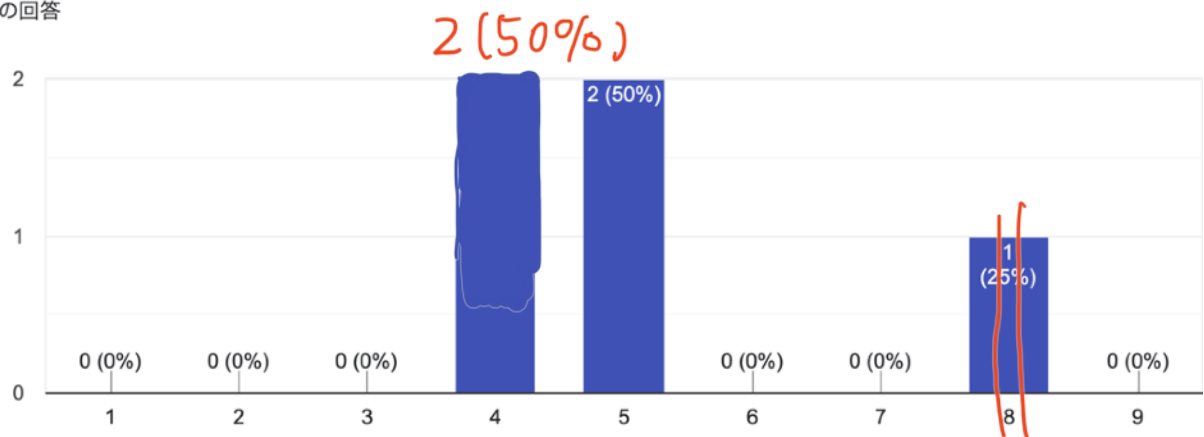
### 全体のまとめ

3件の回答



### シーンごとの分量の配分

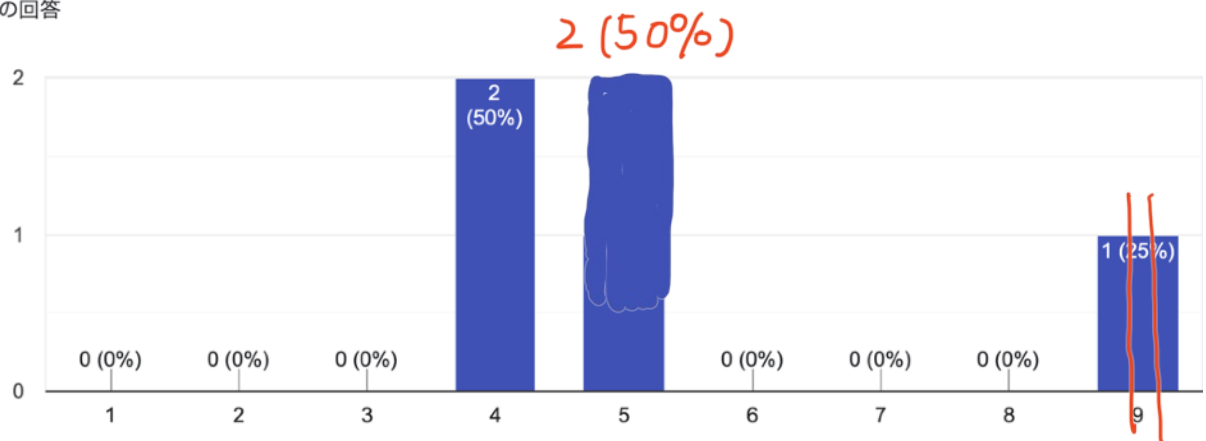
4件の回答



\*訂正があります

### 要素の詰め込み具合

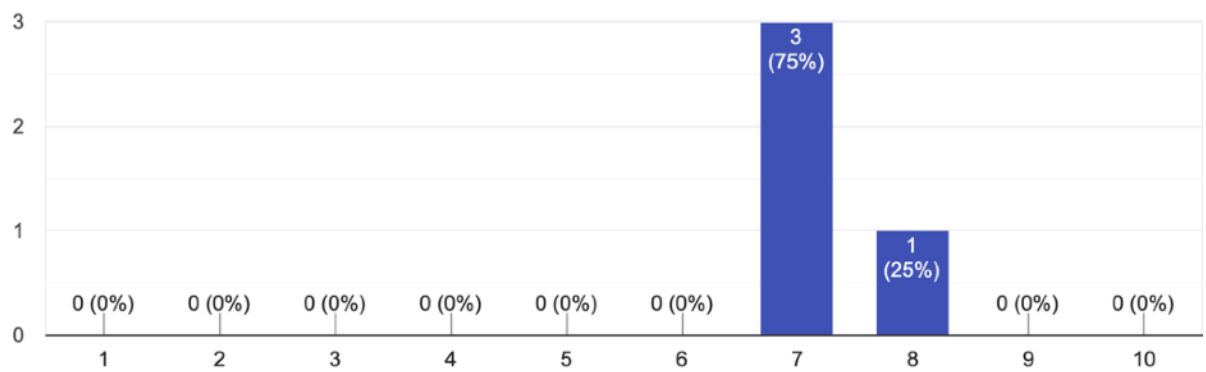
4件の回答



\*訂正があります

### 全体を通して10段階で評価すると

4件の回答



# 評価アンケート

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

## 小説としての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

.....

今回は人生に大きな転機が訪れたこともあり、初めて「私小説」というものに挑戦してみました\*。小説の域を出てエッセイや日記にならないよう努めました。その努力の跡は見えましたか。当てはまるものにチェックをお願いします。

- エッセイではなく私小説として成り立っていた
- これはただのエッセイ、または日記である
- 文学のエッセンスを感じた
- 文学的だとはとうてい思えなかった
- 詩的な表現がうっとうしい
- 詩的な表現は丁度良い
- その他: .....

これがすべて私小説である、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

私小説、という「実体験」と「その時の感情」はその人の中にあるもので、それを表現したものが全てだと私は思います。だとすればそれに「答え」があるのか。それを他人が「それは読みにくい」という評価を下すのは違う。というこれは私一人の感覚である自覚はありますが、それに批評をするのは難しい、この小説の書き手から遠ざかってしまうのではないかと感じる。と、感じていたので、全て私小説。であるなら私はこのままでよいと思います。 .....

これがすべてフィクションである、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

良かった点を教えてください。

後述のアンケート回答に近いものがあるのですが、「普段の生活」と「特別ななにか」のメリハリが聞いていて、読んでいて夢のような、不思議な世界に浸れることができました。これは唯一無二のものだと思います。 .....

よくなかった、批判点などを教えてください。

詩的な表現としてはとても美しいと思うのですが、「漢字」と「ひらがな」を使う場面（『けだかく』がひらがなで『頼れた』をあえて難しい漢字にしているなど）が突然切り替わるようで、よさとも感じますし、読んでいて一瞬立ち止まってしまうような感覚が何度もあったように思えます

読みやすさ



読みやすさの点について、改善した方がいいクセなどが出ていましたら教えてください。

情景描写



情景描写について、何かコメントがありましたらお願いします。

何度も同じようなことを言うようで申しわけなさもあるのですが、幻想的な、特別な場面の表現がとても美しいと感じました。何度も出てくる「メリーゴーラウンド」の表現がとても好きです

## 全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

本来はひとまとめの感情を、あえてまとめのない散文的な表現へ変換することに挑戦してみました。この試みについていかがでしたか。

読みにくさ、はどうしても出てしまうと思います。が、今の状況を表現する最も良い方法の一つであるとも感じました。

## シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

大きく分けて、導入、現実の話、自分の話、現実の詩化表現に分けて書きました。この配分は伝わっていますでしょうか。また、どう思われましたか。

表現に違いをもたらそうとしていることはしっかり伝わってきました。特に「普段の生活」と「特別な何かの表現」のアクセントがよく効いていました。

## 要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

総合的な感想があればお願いいたします。

総合的、ということで少し短めな言葉で表現するならば「うつくしい」と思いました

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム



# 評価アンケート

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

## 小説としての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

・【ありません】と【ございません】が混在しているのは意図的でしょうか？ 印象が変わってくるので統一された方がいいかなと思いました。

・【命に別条はない】は【別状】の間違いじゃないのかなと思って調べたら、どちらの用法もありなのだそうです。知らなかった。

今回は人生に大きな転機が訪れたこともあり、初めて「私小説」というものに挑戦してみました\*。小説の域を出てエッセイや日記にならないよう努めましたが、その努力の跡は見えましたか。当てはまるものにチェックをお願いします。

- エッセイではなく私小説として成り立っていた
- これはただのエッセイ、または日記である
- 文学のエッセンスを感じた
- 文学的だとはとうてい思えなかった
- 詩的な表現がうっとうしい
- 詩的な表現は丁度良い

その他:

私小説を読んだり書いたりしたことがあまりなく、「これは私小説ですね！」とはっきり言えないのですが、ただの体験談ではなく、小説としての味わいがありました。エッセイや日記とは違うものという印象です。

これがすべて私小説である、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

父親のエピソードから人柄がよく分かり、同時に、そんな父に突如臨んだ病（怪我かも？）に書き手が揺り動かされた様も伝わってきました。

ただ、書き手がこのような事態において何をしたのか、もしくは何かしようとしたけど中途半端になってしまったのか、“動き”がなかったので、ただ呆然と脳内にメリーゴーラウンドを思い浮かべているだけの人に見えてしまいました。実際には、何かもっと動きがあったのではないかと思います。

入院に際して必要なものを差し入れなければならないと頭に浮かんだけれど、母に訊いたら「もうとっくに持っていった」と一蹴されるとか。周りがテキパキと対応する中、自分は何もかも先を越され、これが今自分のすべきことであるかのように缶コーヒーを飲み干した、とか。冒頭の【雨の音。しけた空気。説明文を見逃して、一錠飲みすぎた新しい風邪薬とその瓶。何度見返したかわからないドラマの中で死んでいく事件の犯人】あたりからアイテムを引き合いに出して動きを見せるのもありかなと。

書き手の動きが見えた方が、より心境を理解するのに役立ったかと思います。

これがすべてフィクションである、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

全てフィクションだとすれば、なおのこと動きがあった方が面白いし、起承転結もあった方が良いと思います。

良かった点を教えてください。

- ・魚釣りのエピソード.....何の魚か覚えていない、人魚の肉だったかもという冗談っぽい想像から、現状直面した事態において自分を落ち着かせるための自己暗示めいたものへと、形を変えて過去と現在を繋いでいる記述が素晴らしかったです。
- ・【ひとつの体験をこうしておわらい草にすることを、決して人生の切り売り、量り売りとは思いません】→そう！ほんとそう！！自分の体験や感情を書き言葉として残しておくことって、とても大切だと思います。だからこの作品には大きな価値があるのです。
- ・【丑三つ時】は、マコトさんがこの小説を書いているときのことを指しているのでしょうか。【虚実入り混じる】は、父の姿など現実の場面とメリーゴーラウンドのような想像の場面とが入り混じった記憶を指しているのだと思いました。【祈りの荒野にて】は、この小説自体が父の身を案じる祈りのようなものかどうか。

よくなかった、批判点などを教えてください。

- ・【ぶっちぎりの社内ニートと面倒な案件を抱える爆弾人間をせわしなく行き来しながら】という仕事がいまいちイメージできませんでした。分かる人には分かるのか.....？要するに、時間的・金銭的余裕がある仕事ということ.....？
- ・【まるでメリーゴーラウンドの対角を眺めるよう】というのは、なんとなく分かるのですが.....おそらく、父の入院という思いがけない事態に直面し、自分に何ができるわけでもなく感情の整理が追いつかない中、ただ現実は目の前を過ぎ去っていくような感覚。もしくは、医者から「命に別状はない」と言われても漠然とした不安が拭えない、という感じでしょうか.....読者に委ねすぎているというか、書き手の心情とうまく結びついてこないもどかしさがありました。中華の話も蛇足感がある.....食べているものと想像しているものが別というのは混乱している様に見えますが、別に嗅覚関係ないやんって思いました。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

読みやすさの点について、改善した方がいいクセなどが出ていましたら教えてください。

## 情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

情景描写について、何かコメントがありましたらお願いします。

---

## 全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

本来はひとまとまりの感情を、あえてまとまりのない散文的な表現へ変換することに挑戦してみました。この試みについていかがでしたか。

良いと思います。こういう状況での心情を冷静に分析して理路整然と語られると、何らかの観察日記みたいで不気味に見えてしまうかもしれません。

思ったことをぼつりぼつりと語り、そのときに頭に浮かんだ記憶や比喩的な光景が取り留めもなく綴られているのは、漠然とした不安感とか動揺が表れているようで、合っているのではないかと思います。

---

## シーンごとの分量の配分

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大きく分けて、導入、現実の話、自分の話、現実の詩化表現に分けて書きました。この配分は伝わっていますでしょうか。また、どう思われましたか。

伝わりました。父の話と自分の話とをひとまとめで現実の話、メリーゴーラウンドの件は心境の表現として読みました。後者で言いたいことも大体理解できた気がします。

#### 要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

#### 文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

総合的な感想があればお願いいたします。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。



# 評価アンケート

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

## 小説としての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の際は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

誤字ではないかもしれませんが

『不幸中の幸運は』

：不幸中の幸いは辞書に載っています（ネット辞書で申し訳ないですが：

<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E4%B8%8D%E5%B9%B8%E4%B8%AD%E3%81%AE%E5%B9%B8%E3%81%84/>)

「不幸中の幸運」でGoogle検索するとサジェストで「不幸中の幸い」が出てきます。

『高い自信』

：自信は（ある、ない、持つ、失う）等で高いは使用しない気がします。

自分の感覚だけでなく念の為こちらでも（<https://yourei.jp/%E8%87%AA%E4%BF%A1>）数ページ例を遡りましたが（高い）を自信に修飾しているのではありませんでした。サジェストで「強い自信」がありました。

この『長年実家に住まう人間としてはそれなりに高い自信のある生活力もあいまって』

高いが自信にかかっているのか生活力にかかっているのか曖昧です。前文で自信に修飾するのは誤りではないかと指摘しましたが、生活力に修飾しているのであれば今のままだと（高い-自信）と読み誤ることの方が多いのではと思います。

訂正例として

「長年実家に住まう人間としてそれなりに高い生活力があると自負していたのもあいまって」

と挙げますが、修飾が多く分かりにくい文章になっている気がするので、どれか削った方がいいと思います。読者なので言葉の優先順位が分かりませんが、例えば

「長年実家に住まう人間としてそれなりに生活力には自信があったので」

だとスッキリします。

今回は人生に大きな転機が訪れたこともあり、初めて「私小説」というものに挑戦してみま<sup>\*</sup>した。小説の域を出てエッセイや日記にならないよう努めました。その努力の跡は見えましたか。当てはまるものにチェックをお願いします。

エッセイではなく私小説として成り立っていた

これはただのエッセイ、または日記である

文学のエッセンスを感じた

文学的だとはとうてい思えなかった

詩的な表現がうっとうしい

詩的な表現は丁度良い

その他: .....



これがすべて私小説である、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

『父はけだかく優しく、どこかとぼけて愛嬌のある』と文中にあったので、他のエピソードが知りたくなりました。

これがすべてフィクションである、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

詩的な表現が鬱陶しいとまではいきませんが、多くてスムーズに読み進めづらかったです。

人魚の肉のところはフィクションならこの部分のエピソード好きすぎて、案に拍手したいです。すごく主人公の祈りや心配を感じられる部分でした。

良かった点を教えてください。

『こうして言葉をしたためる今もなおこちらを見えています。』

：いい！臨場感をひしひしと感じます。シミがまだそこにあること、拡大して主人公がその瞬間を今でも、ついさっきあった現実のように思っていることが感じられます。

『父の連れた馬がぱかぱか今この瞬間に鳴らす音を、私はいまかいまかと待ち続けています。

丑三つ時、虚実入り混じる祈りの荒野にて。』

：メリーゴーラウンドとの繋がりがいいですね、軽快で白馬に乗った王子様じゃないですけど状況から凱旋という言葉も思い浮かんだりします。

ただ、続く「虚実入り混じる」という部分で、オールフィクションではないことを暗示しつつ、「丑三つ時」「祈り」などの言葉で読者に本当はハッピーエンドではないのかもしれないと思わせるところが、作者にとってのこの出来事の重さのようなものを感じます。

ただ、私個人としては静かな祈りを感じて素敵な終わり方だと思いますし、ぱかぱかも軽快で好きです。

よくなかった、批判点などを教えてください。

違和感を感じた点（他の人が指摘してなかったら考慮しなくてもいいかも）

『有耶無耶なまの日常』

：イメージは掴めますが、ふんわりとしか伝わらない。「≒変わり映えのない退屈な日常」だと思うのですが、+aふと過去を振り返ってこんなにも月日が経っていたという感じでしょうか？

「曖昧な日常」とほぼ同義だと思うのですが、曖昧な日常という言葉の意味も曖昧という点では改善例としては採用できないかなと私は思います。

『カラになったコーヒーの缶が、じゅうたんにつけた小さなシミは、馬蹄のような形で、こうして言葉をしたためる今もなおこちらを見えています。』

：「知らせを聞いてびっくりした時に飲んでいた缶コーヒーでできたシミ」と読み取りましたが、少し分かりにくいかもです。他の人でかぶる意見がなかったら無視していいかもです。

----

『社内ニートと面倒な案件を抱える爆弾人間をせわしなく行き来しながら』

：意味が分かりにくかったです。忙しい時と暇な時がある？それ以上の意味を感じるが正確に読み取れないです。そして、後の『仕事を続けていたことです』にどうこの文章が繋がってるのかもよくわかりません。仕事を辞めようと思っていたのか、仕事が長続きせず不安定な生活を送っているの今職についているという意味なのか、社内ニートだからそうではない気はするのですが...

『だって、前にあんな上手なかぶのあんかけを作って私の舌を楽しませてくれたのに、まあちゃんがぜんぶたべていいよ、という』

：数行下で『この話をしても「そんなこともあったかな」ととぼけるのです。』と文中鉤括弧使っているので、ここも『だって、前にあんな上手なかぶのあんかけを作って私の舌を楽しませてくれたのに、「まあちゃんがぜんぶたべていいよ」という』で揃えた方がいいかなと思いました。

『踏んだ記憶』

：踏むを選んだ理由が不明でした。ラインか何かで病院の父とやりとりをしていて、実はかぶが嫌いだったということがわかって、過去の記憶に対して「全部食べていいよっていうのは自分の嫌いなものを差し出していたんだ」という思いでくすくすと笑いが込み上げてきて記憶が鮮やかに色づくといったように読み取りました。しかし、記憶は基本的に思い出すものなので踏むという表現は一般的ではないと思うのですが、なぜ踏むが選ばれたのか読み取れませんでした。

『子供部屋に押し込まれたままの感性が素直のまま』

：ママが重複しているので直した方がいいかもです。

『まっ先にそのことがよぎったのは、まるで人魚の肉を食べたなら、父が死ぬことはないはずだと、自分に言い聞かせているようでした。』

：「まるで～のようだ」で一般的によく使用されますが、「まるで-人魚の肉-（のようだ）」と錯覚してしまいます。おそらく、「まるで-自分に言い聞かせる-ようだ」と意図しているのだと思いますが、誤読を防ぐために修正した方がいいと思います。

『まっ先にそのことがよぎったのは、「人魚の肉を食べたなら、父が死ぬことはないはずだ」と、自分に言い聞かせているようでした。』

『まっ先にそれを思い出したのは、人魚の肉を食べたなら、父が死ぬことはないはずだと自分に言い聞かせるためなのだろうか。』

メリーゴーラウンドのあたり、よく読めばわかるような気がするけど初読では理解が難しかったです。

①『感情の形だけが先走って』

「形」が何を指しているか分かりませんでした。前後を読み返すと、病院で寝込んでいるだけではない父

と入院が必要なほどの体調になってしまった父とのギャップに感情が揺れ動く主人公というのを表現したかったのかなと思います。

例は考えたのですが、メリーゴーラウンドとのつながりを正確に捉えられている自信がないので伏せませす。

②『印象を残しすべてが過ぎ去ってゆく中、当の私は変わらない景色を眺めているだけ。』

印象を残しすべてが過ぎ去っていく＝泣きも笑いもできない

変わらない景色を眺めているだけ＝現実

と、読みました。初読でスムーズに理解できなかったの（私だけかもしれませんが）前文でうまく誘導できるといい部分かなと思いました。

③『びゅんびゅん音を立てる手前、頽れた私を確実に捉えているはずなのにふるえながら抜け出してしまう。』

直前の「対角」という言葉が誤読を招いていると思います。

「びゅんびゅん音を立てる手前、私を捉えているはず」「ふるえながら抜け出してしまう」が二度読みしてもわからなかったです。

おそらく、私は『メリーゴーラウンドの対角を眺める』という言葉から主人公がメリーゴーラウンドに乗っていると思っていました。対角とあるので、メリーゴーラウンドの中で対角の馬を見ているイメージでした。

ですが、おそらく、主人公はメリーゴーラウンドを第三者として眺めているのですね。

そうすると、「びゅんびゅん音を立てる手前」というのは回っていることで全ての馬が主人公を視覚に入れているはずなのにと読めます。

「ふるえながら抜け出してしまう」というのも回って過ぎ去ってしまうということかなとかるうじで読めます。

他の意味を含んでおらずメリーゴーラウンドの馬のことだけなら、「ふるえながら抜け出す」は表現として乖離していると思います。別の意味を含んでいるのなら、私には読み取れなかったので補足の言葉が必要かと思います。

（抜け出す：<https://dictionary.goo.ne.jp/word/%E6%8A%9C%E3%81%91%E5%87%BA%E3%81%99/>）

## 読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

読みやすさの点について、改善した方がいいクセなどが出ていましたら教えてください。

詩的な表現や曖昧な表現（よくなかった点で述べたわからなかったと記述している部分）がいくつかありました。

## 情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

情景描写について、何かコメントがありましたらお願いします。

はっとさせられるような表現や光る表現があったので、いいと思います。  
追憶の形なので風景などの描写は少ないですが、状況のわかる出来事の描写です。

## 全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

本来はひとまとまりの感情を、あえてまとまりのない散文的な表現へ変換することに挑戦してみました。この試みについていかがでしたか。

まとまりの回答を省かせていただきます。  
過去を思い出している、とりとめのない感じがこの作品にはあっていると思います。過去の出来事や思い出をぽつりぽつりとシーンとしてしっかり描写できているのでいいと思います。

## シーンごとの分量の配分

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大きく分けて、導入、現実の話、自分の話、現実の詩化表現に分けて書きました。この配分は伝わっていますでしょうか。また、どう思われましたか。

枠組みがしっかりはっきり感じられることは、この設問を読むまでありませんでした。ですが、それがわからないことで物語がマイナスになることはないかなと思います。展開の仕方がスムーズだからなのかなと思います。

指摘されて枠組みは多分これだろうなと理解はできます。

父のエピソード（かぶの話、怪魚の話）はもう少しボリュームあってもいいと思います。父にどれだけ読者が引き込まれるかがこの話が生きるキーポイントになると考えます。

### 要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### 文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

総合的な感想があればお願いいたします。

光る表現もいくつかあり、素敵で心惹かれる部分もあるのですが、比喩の多さや分かりづらく読み辛い箇所がいくつかあったのでこの評価にさせていただきます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

## 小説としての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の際は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

誤字のご報告はこちらをお願いします。

.....

今回は人生に大きな転機が訪れたこともあり、初めて「私小説」というものに挑戦してみました\*。小説の域を出てエッセイや日記にならないよう努めましたが、その努力の跡は見えましたか。当てはまるものにチェックをお願いします。

- エッセイではなく私小説として成り立っていた
- これはただのエッセイ、または日記である
- 文学のエッセンスを感じた
- 文学的だとはとうてい思えなかった
- 詩的な表現がうっとうしい
- 詩的な表現は丁度良い
- その他: .....

これがすべて私小説である、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

表現が文学的で、書かれている父の病態を思うと重い話ではあるのですが、読者としてはそこまで重くなりすぎず、良いと思いました。  
.....

これがすべてフィクションである、としたときどのような評価になるか、感想があればお願いします。客観的でなくても問題ありません。

そこまで突飛な状況ではないので、フィクションとして読んでも、読んだ後の余韻としてはそこまで変わらないかなと思いました（自分にもありそうという範疇なので、自分ごととして想像ができる）（これを書いている当人が、私小説とは事実そのままを書いたわけではなく、どこかしらフィクションであると捉えているゆえかもしれませんが）  
.....

良かった点を教えてください。

家族のことが好きな様子が伝わってきてよかった。

「明日、父が帰ってきます。～」の最後のパラグラフが特に好きです。  
.....



よくなかった、批判点などを教えてください。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

読みやすさの点について、改善した方がいいクセなどが出ていましたら教えてください。

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

情景描写について、何かコメントがありましたらお願いします。

メリーゴーランドの例えがよかった。

全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

本来はひとまとまりの感情を、あえてまとまりのない散文的な表現へ変換することに挑戦してみました。この試みについていかがでしたか。

3つ目のパラグラフの一文目、「～ごさいません。」で終わっているのが、やや気になりました。（ここだけちょっと丁寧さが増す。全体の雰囲気からすると、単に「ですます」で終わらせるくらいの淡白さが良いかと）

### シーンごとの分量の配分

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

大きく分けて、導入、現実の話、自分の話、現実の詩化表現に分けて書きました。この配分は伝わっていますでしょうか。また、どう思われましたか。

最後、急に表現が変わったなーと思ったのですが、設問を見て納得しました。現実の詩化表現については、もう少しグラデーションをつけても（全体に散りばめつつ、最後にグッと増やす）良いかなと感じました。

### 要素の詰め込み具合

1（少ない）～5（適切）～9（多い）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

文章ルールについて

---

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

総合的な感想があればお願いいたします。

最後の一文に関して、丑三つ時だと、ホラーの雰囲気が出てしまうかもしれない（最後に丑三つ時と来るとちょっと怖い印象）ので、「～が寝静まった頃」だったり、やや明け方にずらして「虎の刻」とかにすると、全体の文学的な雰囲気に合うかも？と思いました。

（総合的な感想からはややずれてすみません）

---

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム